

平成 29 年度 第 4 回 にいがた交通戦略推進会議 発言要旨一覧

<基本方針（案）について>

発言骨子	要旨	回答
生活交通 確保維持・強化	○資料 1 P.1 の基本方針（修正後）①「都心方面を結ぶ公共交通」とは鉄道やバスを想定しているのか。	○新潟市の広い市域を支える鉄道やバス等を想定している。
生活交通 確保維持・強化	○資料 2 P.13 に「地域のまちなか」との記載があるが、どこを想定しているのか。	○地域（各区）のまちなかを想定している。
生活交通 確保維持・強化	○「自動運転技術も見据えた」との記載があるが、地域のまちなかでの公共交通とはどのような手段を想定しているのか。	○ニーズ・需要に応じて、様々な手段を活用することを想定している。
高齢者への対応	○超高齢社会に対応して、高齢者の足どのように確保するかが問題になる。例えば普段は徒歩や自転車を利用しているため公共交通を利用しない高齢者が、病院に行く際に利用できる公共交通がない場合がある。そのような場合に対応できるような公共交通体系とするべきである。	○ニーズ・需要に応じて、様々な手段を活用することを来年度以降検討する。
その他表現等	○資料 1 P.1 の基本方針（修正後）①に「サービス強化」という文言があるが、運行本数の増加等をイメージしてしまう。例えば道路渋滞が無くなって定時性が増す等、詳細に記載した方が良い。	○ご指摘のとおり、修正する。
その他表現等	○資料 2 P.17 施策（例）に、「各地域と都心を結ぶ路線バスのサービス改善」との記載があるが、鉄道も記載した方が良い。	○ご指摘のとおり、修正する。
自動車と公共交通との役割分担	○新潟市では自動車分担率が高いため、公共交通との結節点機能の向上を図るべきである。	～意見として頂戴いたしました～

発言骨子	要旨	回答
天候への対応	○新潟市の特徴として、豪雪等の冬の天候の悪さが挙げられる。様々なシーンに合わせて利便性を確保するという視点も入れて欲しい。	○天候が悪いと自動車交通が多くなることもあるため、ハードとソフトの両面から施策を検討する必要があると認識している。
その他表現等	○資料1の P.1 基本方針（修正後）④に「適正な土地利用を穏やかに誘導」との記載があるが、修正前の案には「穏やかに」との記載が無い。この文言は必要か。	○立地適正化計画との整合を図るため現状では記載しているが、戦略プランで「穏やかに」との文言を記載するかは改めて検討する。
その他表現等	○資料1の基本方針（修正後）②に「端末交通として自転車・自家用車を含めた結節強化」との記載があるが、自家用車も端末交通としての役割を担うということか。公共交通中心という文言を明記したほうが良い。	○自動車分担率が高い現状との整合を図るためにも、この文言を記載している。 ○端末交通としての自家用車利用（パークアンドライド等）も視野に入れて、施策を行うための方針を検討している。読み手に伝わるように修正する。

<今後のスケジュールについて>

発言骨子	要旨	回答
スケジュール	○網形成計画においては事業の具体性が求められることから、1月頃としている「戦プラ・網（案）」について、可能な限り早いうちから検討したほうが良い。	～意見として頂戴いたしました～